

## 可児市パブリックコメント(意見募集)の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。

意見募集の集計結果			
政策等の名称	第3期可児市地域福祉計画(案)		
意見募集期間	平成31年1月10日 ～ 平成31年1月31日		
意見の件数(提出者数)	5件 ( 2人 )		
意見の取扱い (対応内容の分類)	分類	分類内容	件数
	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	4件

意見等の概要とそれに対する市の考え方			
No.	意見等の概要	意見の取扱いの分類	意見等に対する市の考え方
1	<p>市民から見た場合、福祉には次の2通りがあると思います。1つは「市民から外へ出かける」場合。2つ目は「外から市民の方へ来てもらう」場合です。『身体が許されるなら』、市民から外へ出て他の人と交わり、心の安らぎや談笑等によって生活の充実感を持つことができればこれに勝るものはないと思います。然しながら、自由に外出でき難い人(外出困難者)も多数おられます。例えば</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢などで足腰が弱くなって外出が困難になった。</li> <li>2. 障がいがあり独力で外出が困難である。</li> <li>3. 運転免許証を返納したが、その代わりとなる足がない。</li> </ol> <p>などの人です。こういう外出困難者に、図書貸出サービスを是非ご検討いただけないでしょうか？</p> <p>現在、図書を借りたい場合にはネットで予約はできますが、借りたり返却したりは図書館まで行く必要があります。自宅や介護施設等まで図書を届けてもらいまた返却時に取りに来てもらえるなら、図書の利用が随分しやすくなります。また安否確認にもなります。</p> <p>障がいを理由とする差別の解消の推進は全国的な流れであり、細かい点は別にして岐阜県や北海道、秋田県、山形県、福島県、埼玉県、神奈川県、長野県、宮崎県等や、美濃加茂市、各務原市、犬山市、宇都宮市、横浜市、広島市、高松市、恵庭市などでも貸出サービスを実施しています。</p> <p>また、図書の利用は認知症予防にも効果があるのではないのでしょうか？外出困難者に図書宅配サービスを検討いただけないか。</p>	その他	<p>本計画は、公的福祉サービスだけでは十分に対応できない様々な地域課題を行政・住民・関係機関等が協働し、安心して暮らせる地域社会をつくるための理念やしきみをつくる計画です。そのため、本計画とは別に外出困難者の図書の貸出について、どのようなサービスが可能か今後検討させていただきます。</p>

## 意見等の概要とそれに対する市の考え方

No.	意見等の概要	意見の取扱いの分類	意見等に対する市の考え方
2	<p>本計画策定に当たっては、福祉関係の活動をしている個人や団体の方へ調査を行っておられるようですね。然しながら「対象となる高齢者・被介護者・障がい者等の方たちへのヒアリング」はどうなっているのでしょうか？こういう方たちが、何を求め、何を望んでおられるのかが重要ではないのでしょうか？今後は是非ご検討ください。</p>	その他	<p>高齢者、障がいのある方が加入している団体からヒアリングを実施し、意見を聴取しました。また、障がい者計画、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定の際は対象者からアンケート調査を実施しています。</p>
3	<p>昨年12月の可児市卓球選手権大会に、知的障がいの方が初めて参加しておられました。健常者に交じって楽しんでおられました。こういう方たちはきっちり指導を受けておられるのでしょうか？・・・基本技術ができていませんでした。一部の障がい者(聾唖)の方は一般のサークルでスポーツを楽しんでおられますが、障がい者のニーズと受け入れ態勢はどうなっているのでしょうか？是非計画の中に盛り込んでいただきたいと思います。また福祉センターで鈴の音卓球を永らく続けてこられました。現在中止になったようですね。仄聞するところでは、障がい者に対する送迎ができなくなったため？とのこと。何とも寂しいことです。これも目の不自由な方だけではなく、健常者も目隠しをして楽しむという方向で考えれば、新しい形に発展するのではないのでしょうか？</p>	その他	<p>可児市卓球選手権大会は市卓球協会主催により中学生、高校生、大人に幅広く参加をいただいています。近年、学校で指導を受けている知的障がいの方も参加され、練習の成果や卓球で対戦することを経験していただくいい機会となっています。</p> <p>障がい者の受け入れ態勢については、障がい者生活支援センター「ハーモニー」が、社会参加促進事業として文化教室やスポーツ教室を開催しています。参加してもらえよう講座について利用者の声を集約し、より多くの障がい者が参加してもらえよう講座を検討していきます。また、鈴の音卓球(サウンドテーブルテニス)については、ハーモニーの事業として実施してきましたが、送迎ボランティアの活動も困難となったため、自力で通っていただくようにしましたが、利用者が少なくなり中止となりました。</p>
4	<p>地区センターをコミュニティーの核と位置付けるのであれば、健常者と高齢者・被介護者・障がい者・児童等と一緒に集えるような環境を作ることができないでしょうか？体育室は盛況だが会議室の利用状況が悪いということですので、各種娯楽道具を一部会議室に設置して利用してもらおうという手段もあるかと思えます。市が貸し出している軽スポーツ用具やミニ卓球台、囲碁、将棋(本将棋・5マス将棋など)、麻雀、カードゲームなどなど。「住まいから外へ出かけて住民と交わる」ということが進むのではないのでしょうか？送迎支援は考えねばなりません。帷子や桜ヶ丘という人口の密集地で取敢えず試行できないのでしょうか？</p>	その他	<p>今年度4月から公民館から地区センターに変わり、地域の方が運営しやすいよう地区センター運営審議会を設けています。地域で取り組んでいただくことは地区センター運営審議会の中でご審議いただき、それぞれの地域で特色のある活動が行われていますので、ご提案の内容については、運営審議会でご審議いただくことになります。地区センターではサロンも開催され、地域共生の場としての利用と各種備品の活用など特色ある活動がしやすい仕組みとなっていますので、ご理解願います。</p> <p>(P21 No.4 地区集会施設等の活用の促進)</p>

意見等の概要とそれに対する市の考え方			
No.	意見等の概要	意見の取扱いの分類	意見等に対する市の考え方
5	<p>数年前 名鉄広見線の善師野付近で認知症高齢者の女性が、線路内に立入り亡くなりました。また、広報かにからの放送では、行方不明者の捜索協力等が年々増してきています。こうした方々は大半が認知症だと考えられます。小生も高齢者ですが、幸い家族もその症状は今のところありません。しかし、私の姉2人は共に80代半ばから認知症を発症し、90代半ばわずか半年間に2人共亡くなりました。この間約10年、家族は言葉にならない大変な苦労がありました。私も、この病には絶対かかりたくありません。全ての方々も、当然思っている事でしょう。しかし残念ながらそんな保証は誰にもありません。</p> <p>そんな中、1ヶ月程前NHK(平日夜 まるっと)で愛知県大府市と、兵庫県神戸市の取り組みについて、詳しく放送されていました。更に、今年1月26日(土)CBCの報道番組でも放送されていました。</p> <p>大府市では、この件の条例が2017年12月に制定され、大和市、小山市等も制定され、神戸市も今年の4月から制定する様です。</p> <p>この先、年々高齢者が増え続け、それに伴い認知症患者も増えてくる事でしょう。この様な難しい問題は、数か月で議会に於いて可決制定されるとは思えません。今から議論する事は、決して早くはないと思います。大府市、神戸市当へ問い合わせ、又は出向いて頂き調べ、その上で議論し同市にとって最も良い方法(内容)にして頂ければと思います。よく市長が言われる[住み心地一番可児]どうか宜しくお願いします。</p>	参考	<p>現在、当市では可児市オレンジプラン(可児市における認知症施策)に基づき、認知症初期集中支援チームによる早期の認知症対応、認知症の方やその家族などが集う認知症カフェ、また、介護保険制度による認知症老人徘徊感知器の貸与など認知症施策に取り組んでいます。</p> <p>有識者による会議において、様々な認知症施策のご意見を伺ってきましたが、これまで認知症施策に関する条例制定や賠償支援などのお話しは出ていないため、現時点での計画はありません。今後の他市での取り組みを参考にしながら本市にとってどのような対策ができるのかを検討していきます。</p>